

〈 年間目標 〉		I 期		II 期		III 期		IV 期					
		産休明け～3ヶ月未満		3～6ヶ月未満		6～9ヶ月未満		9～12ヶ月未満		1歳～1歳6か月未満		1歳6か月～2歳未満	
よく遊び、よく食べ、よく眠る													
ねらい		一人ひとりの生理的欲求を十分に満たし、安定した生活リズムで気持ちよく過ごせるようにする。		決まった保育者が食事、睡眠、排泄など生活面の世話をし、愛着関係を形成していく。		「ちょうだい」「どうぞ」のやりとりを通して保育者との関わりを楽しめるようにする。また、体全体を動かしてあそぶことを楽しむようにする。ふれあい遊びを楽しむ。		・楽しい雰囲気の中で、自分から食べようとする意欲を引き出す。 ・広い場所でははいはいや伝い歩きなどをして探索活動を楽しめるようにする。		・保育者に見守られながら一人遊びを十分に楽しめるようにする。 ・午睡起きオムツが濡れていない時は、便座に座ろうとする。また、おむつが濡れたことを表情やしぐさで伝えるのでそれに応える。		・保育者に手伝ってもらいながら、衣服を着脱しようとする。 ・友達に関心を示す。	
子どもの姿		・眠りが浅く、おむつが濡れたり、おなかがかすと泣き、満たされると泣き止む。 ・あやすと笑い、視線が合うことが増える。 ・動くものを目で追う。抱っこをすると、安心する。		・生活リズムが定まる。 ・首が据わり、寝返りをするようになる。 ・初期食を開始する。 ・話しかけると喃語を発する。		・午前、午後の2回寝になり、睡眠、食事の時間が定まる。 ・人見知り、後追いが始まり、喃語が盛んになる。 ・物をつかんだり、持ち替えたりする。お座りが安定する。		・午睡が1回に定まる。 ・手づかみで食べようとする。 ・はいはい、つかまり立ちなど移動が盛んになる。トンネルをくぐる。 ・頭に布をかけると、自分でとれるようになる。 ・入れ物から中身を出す。		・思い通りにいかないと泣いて助けを求め。また、苦手な食べ物ができる。 ・歩行ができるようになり、探索活動が盛んになり、保育者の模倣が多くなり、うたったり、お辞儀をしたり手を合わせる事ができるようになる。		・スプーンの使い方が上手になり、食器に手を添える(乳児食になる)。 ・おむつが汚れると知らせる。また、タイミングが合えば、トイレで排泄できる。 ・友達との物の取り合いが多くなる。 ・保育者の簡単な言葉かけが理解できる。	
健康	生活習慣	食事	授乳は安定した姿勢で抱き、行為の前に何をするか声をかけ、ゆったりとした気持ちで行う。	首がしっかりとすわったらスプーンで水分補給を行い、スプーンに慣れさせる。	・中期食に移行するので、家庭の進み具合を確認し、協力して進める。 ・色々な食材を食べてみようという意欲を伸ばす。 ・自分のペースで無理なく食べられるようにする。 ・保育士がひざの上で抱いて座り、介助スプーンを口元にあて、子供が食べ物を取り込めるようにする。	・色々な食材を自分(手づかみ、スプーン)で食べようとするよう促す。ピンチ把握で食べ物が掴めるようになる。	・スプーンを使い、一口量がわかり一人で食べようとするので、スプーンの使い方を知らせる(上手にぎり)。 ・大人が手を添えてお椀やコップですすり飲みが連続してできるように促す。 ・決まった場所で食事を行うことで、自ら椅子に座りに行けるように促す。	・おかずをスプーンですくい、口まで自分で運ぶように進める。 ・自分でコップを持ち、飲むようにする。					
		排泄	汚れの不快をつたえてくれたり、時間見計らい優しく語りかけながら、オムツ交換を行い、安心してオムツを交換してもらう。	オムツを替えて、綺麗になった気持ちよさを感じる。	オムツ交換時にお尻をあげる。保育士の親指に捕まり、体を起こす。(腹筋を使う)	保育者に誘われてオムツ替えコーナーに行こうとする。	興味を示している子はトイレに行き、便器に慣れさせる。						
		着脱	首が据わっていないので、頭をしっかりと支える。	上着の着脱のときは、袖から脱がせていく。声かけも必ず行う。行為の前に声を掛ける。		着替えの行為の参加を意識し始める。	手足を動かせ、着替えの行為に参加し始める。	自分でズボンを上げようとする。					
		睡眠	1日のほとんどを寝て過ごすので、睡眠が取れるように静かで安全な環境を作る。仰向くで寝かす。	睡眠のリズムが整ってくるので決まった保育者が睡眠に誘うことで一人ひとりが安心して眠れるようにする。	一定時間眠れるようになる。	2回寝になり、決まった時間に寝るようになる。	自分の布団を見つけ、同じ場所で安心して眠る。	1回寝で就寝のリズムが一定になる。自分の布団に自ら寝転がる。					
		清潔	肌着をこまめに交換してもらい、身体の清潔を保つ。	肌を清潔に保ち、さっぱりした気持ちよさを感じる。	おもちゃを嘔んだり、舐めたりするので毎日おもちゃを拭く。舐めたものは他児が舐めないようによける。	鼻水が出ていたら優しく声をかけ拭いてあげ、綺麗になった気持ちよさを感じる。		食事後に自分で口や手を拭こうとする。食事前に手を洗いに行く。					
	運動	音のなるおもちゃを目の前に見せ、ものを追視したり、音のほうへ首を向けるよう促す。(中央線を越えて追視できるように促す)	首が据わると腹ばいなど、様々な体勢をとり、頭を上げたり、腕を支えたりするので、子どもの状態をよく見て無理のないようにする。寝返りを左右ともに促す。	・腹ばいであそぶ。 ・ピボットターンやずり這いをして足指でしっかり床を蹴るように促す。	・下半身が発達し、はいはいで移動する。 ・高高い、つかまり立ち、伝い歩きができる。	・ひとりで立って歩く。階段ののぼりおりができる(しゃがむ、またぐ)。 ・トンネルや箱に出入りすることで、空間認知力を養う。	・足を揃えて段のぼりをする。 ・ボールを蹴る、押す、引く。 ・積み木を3個以上積む。 ・股のぞきをする。						
人間関係 (人との関わりに関する領域)		・抱っこされて安心する。 ・あやされて喜ぶ。 ・視線が合うことが増える。	・喃語に優しく対応しながら特定の保育者が関わり、愛着関係の基礎を築けるようにする。	・知らない人を区別する。 ・「いないいないばあ」などの遊びを繰り返して楽しみ、関わりを期待するようになる。	・三項関係の成立 ・一方的に要求する指差しに大人が言葉を添えて答える。	・友達とふれあい、共感する。 ・嫉妬の感情が表れるので気持ちをしっかりと受け止める。 ・大人の問いかけに指差しで答える。	・「～ではない」「～だ」の思考ができ、自我が芽生えるので、その気持ちを受け止める。 ・得意、すねる、不安など高度な感情表現が出てくる。						
環境構成	人的・物的援助	一人ひとりの健康面や生活リズムを把握し、落ち着いた環境の中で眠れるようにする。24時間の生活リズムでとらえてリズムを整える。	・個々の発達に十分留意しながら過ごし、生活リズムを安定させていく。 ・発達に合わせた様々な玩具を準備し楽しめるようにする。おもちゃを清潔に保つ。	・行動範囲の広がりに伴い、室内の安全面、衛生面に留意する。 ・五感に働きかける玩具を準備し、言葉かけをして活動意欲を引き出す。	・つかまり立ち、伝い歩きの際には転倒に注意し、探索が十分に楽しめる環境作りをする。 ・じっくりと楽しめる玩具と環境の設定をし、一人遊びを十分に楽しめるようにする。	・危険を予測し安全面に配慮しながら見守り、活発な活動が楽しめるようにする。 ・室内だけでなく戸外へも積極的に出て、自然を感じられるようにする。	・子どもたちが伸び伸びと活動できる環境を作るのに適したものを準備、設定する。 ・安全面を考慮し、活動時の保育者の配置を事前に検討する。						
言語 (言葉の獲得に関する領域)		クレーイング ・母親の声の区別ができる。 ・話しかける人の目や口元をじっと見る。	喃語ができる	・反復喃語 ・大人の呼びかけに反応する。	指さしのはじまり ・喃語に強弱や高低がつく。 ・大人の言葉をいくつか理解する。 ・名前を呼ばれたら振り返ったり手を上げたりできる。	初語・一語文を話す ・言われたことを理解する。 ・語尾を真似る。 ・要求や拒否を喃語や動作で表現→拒否を表わす片言。 ・「ちょうだい」と言われて応え差し出す。	二語文を話す ・大人の言葉をオウム返りする。 ・友だちの名前がわかる→友達の名前を呼ぶ。 ・ありがとう、バイバイの仕草をする。 ・言葉を模倣して繰り返し楽しむ。 ・連続ぐるぐる描きのはじまり。 ・ちぎる・転がすなどの感触あそびを楽しむ。						
表現	絵画・造形				・紙をちぎる・丸める。 ・点々を描く。	・上下左右のなぐり描き。							
	音楽	わらべ歌での保育士との対1での遊びを喜ぶ。	リトミックを始める。		・リズムに合わせて体を動かす。 ・音のするものに興味をもつ。 ・ラッパを吹く。	・気に入った歌を繰り返し楽しむ。 ・太鼓をたたく。							

		4・5月	6・7月	8・9月	10・11月	12・1月	2・3月	
具体的な年間計画	言語 (言葉の獲得に関する領域)	・喃語や発声、表情などで身近な大人に呼びかける。 ・名前を読んだり言葉がけに対し、仕草などで応じる。	・保育士の語りかけや歌に仕草などで反応する。	・「もう1回」「いやいや」など、言葉や仕草で伝える ・指差しや身振り、片言の言葉など盛んに使うようになる。	・絵本に触れ、親しむ。 ・一語文でやり取りを楽しむ。	・「ちょうだい」「ばいばい」など言葉と動作が結びついてくる。 ・自分の名前を言う。	・二語文で簡単な会話ややり取りを楽しむ。 ・友だちの名前や先生の名前が分かり、呼ぶ。 ・絵本のフレーズや歌をまねて楽しむ。	
	表 現	絵画・造形	感触遊び(絵具・寒天など)	感触あそび(泡・寒天など)	なぐり描き シールあそび	→	感触あそび(小麦粉ねんど)	
	音楽	手あそび はるですね はるですよ ちゅうりっぷ ことりのうた	かえるのうた かたつむり きらきら星 みずあそび	とんぼのめがね 秋の空 ぼんぼこたぬき	どんぐりころころ やきいもグーチャーパー きのこ 大きなくりの木の下で	あわてんぼうのサンタクロース おほしがひかる ゆき 雪だるまのチャチャチャ	つくしんぼ ポンポンポンと春がきた たんぼぼ	
	健康	運動	斜面の山登り トンネルフープ ローリングマット 段差上り下り ベビーマッサージによってしなやかな体づくりを促す。	リトミックをする  水あそび プールあそび } →			→ 一本橋 両足跳び	
反省		・月齢の違う2人の保育だったので生活リズムをどのあたりまで同じようにするのかのすり合わせが難しく試行錯誤しながら決めていった。午睡のタイミングなど安定するまで1カ月かかった。・次のステップへの段階的な成長は順調よくすすめられた。高月齢時の4月生まれは、なかなか午睡が30分ほどで入眠する時も激しく泣き、起きる時も泣いていて1時間ほど続けて寝るのが難しかった。食事の面は順調で後期食から食べ食欲はあった。10月うまれの子どもは寝返えりやずり這いがなかなかすすまなかったのでリトミックの時に触れ合い遊びやベビーマッサージなどで体をほぐし体をひねる動きやおもちゃで誘って動くようにしていった。ミルクはよく飲んで200cc4時間あけてしっかり飲んでいった。	・水遊びプール遊びは好きで顔にかかっても平気で楽しんでいった。 ・4月生まれの子どもは7月で一人歩きでき、伝え歩きながら行動範囲が広がっていった。音楽が好きなのでリトミックにも積極的に参加し、歌も好きで体を揺らしたり、手をたたいて楽しんでいった。後期食から完了食に移行した。午睡はあまり変わらずだがまとめて1時間寝れる日も増えてきた。 ・10月うまれの子どもはずり這いで積極的に動くようになり、おもちゃめがけて広い範囲動くようになった。担任の保育者への後進いが激しくなってきた。リトミック中に傾斜上りや布団の丸太超えなどを行い腹筋や背筋、手足の力を強めていき四つん這いにつなげていけるように促した。お座りを覚えたので四つん這いで動けるようにしていった。中期食を抱っこ食べて食べるようになり、しっかり完食していた。 ・7月から5月生まれ(2カ月)の赤ちゃんが入園し、ミルクと午睡の時間など3人での時間の兼ね合いをすり合わせつつならし保育をすすめていった。ミルク回数は3回で一度に飲む量は160ccでゆっくりペースで飲む。					

西暦2025年度

中京みぎわ保育ルーム 年間指導計画

【1歳児ちゅうりっぷ組】

〈 年間目標 〉		I 期		II 期		III 期		IV 期			
		1歳～1歳3ヶ月未満		1歳4ヶ月～1歳6ヶ月未満 1歳6ヶ月～2歳未満		2歳～2歳3ヶ月未満 2歳3ヶ月～2歳6ヶ月未満		2歳6ヶ月～3歳未満			
よく遊び、よく食べ、よく眠る		一人ひとりの生活リズムを把握し、無理なく新しい環境に慣れるよう進める。		生活リズムを整え、気持ちよく快適に過ごす。 育児担当保育を進める中で、保育士との愛着関係をより深くする。		身の回りのことを自分でしようとする意欲を育む。 個人差に留意しながら一人ひとりの発達に合った全身運動が十分できるようにする。		ごっこ遊びを通して言葉のやり取りや動きを表現することを楽しむ。			
ねらい											
子どもの姿		つまむ、たたく、引っ張るなど手や指などを使って遊ぶ。 箱の中に出したり入れたりする。(ポットン遊び)		見立て遊びをする 引き歩く 模倣遊びができるようになる。 砂、水遊びを楽しむ		積み木を積む。積み直し。 簡単なひも通しができる。 「～ではない」「～だ」の思考ができる。		友達と一緒にグルグル走るなどのテーマの共有化。 順番が分かる。 遊びの中で生活を再現する。 他児と一緒に簡単なルールのある遊びを楽しむ。		積み木で作ったものを見立てる。 手指操作遊びが豊かになる。 身近な生活再現遊びを、保育者や友達と共感して遊ぶ。	
養護と教育	健康	生活習慣	食事	しっかり咀嚼する。 上手握りでスプーンで少しずつ食べる。 1対1の抱っこ食べを通し、食事に意欲を持ち、自分で食事ができるように進める。	自分で食べたいという気持ちが出てくるので、スプーンを使ってみる。 保育士とともに両手を添えながらコップで飲む。	一口量がわかり、自分ですくい、こぼしながらも口まで自分で運んで食べる。 最初から最後まで自分で食べる。 コップやを持って飲む。	始まりから終わりまで自分で食べる。 よく噛む習慣をつける。 スプーンが支え持ちになったら、下から持つよう伝えていく。	器に手を添えて食べる。 汁物は両手でお椀を持って飲む。	偏食が現れだす。 スプーンの三点持ちが安定する。 よく噛んで食べることができる。		
			排泄	保育者に誘われてオムツ替えコーナーに行こうとする(見通しを持つ)	排尿にリズムができた子は、便器に座り、慣れる。	オムツが濡れたことを知らせて、替えてもらう。	排泄の自立のための身体機能が整うので、オムツが濡れていなければトイレに誘う。(午睡後など)	排泄の後始末のやり方を教えてもらい、手伝ってもらいながら自分でする。	排泄を事前に知らせ自分で行ける。		
			着脱	手足を動かして着替えの行為に参加する。	自分でズボンを引っ張ってあげようとする。	ズボンのはき方を教えてもらい、できることを増やす。脱ぐことを知り促す。	自分でズボンやパンツを脱ぐ。 靴下をはこうとする。	ファスナーを上下できる。 助けられて靴を履く。	上着の両袖を自分で引っ張って脱ごうとする。 自分で靴を履く。		
			睡眠	自分の場所を見つけ、同じ場所で安心して眠る。	一回寝で就寝のリズムが一定になる。	自分の布団に歩いて向かう。	自分の布団を見つけて横になる。	見守られて安心して自分の布団で眠る。			
			清潔	鼻水は声かけと共に拭いてもらい、綺麗になった気持ちよさを知る。		手洗いの洗い方を知る。水を出す。手のひら、手の甲、指の間。水を止める。(パッパッパッ)タオルで手を拭く。		鼻水が出たことを自分で知らせ拭いてもらう。	鼻水が出たら、保育者に伝えて自分で拭こうとする。		
	環境構成	人的・物的援助	運動	つかまり立ち、伝い歩き、歩く。 転がってきたボールを取る。 小さいものを親指、人差し指でつまむ。	しゃがむ、またぐ 両手をついて階段を昇る。足から降りる。 上下左右のなぐり描き。	足を揃えて階段を昇り、歩行の確立。 道具を使う、積み木を3個以上積む。	飛び降りる。ぶら下がる。 積み木を8個以上積む。	ねじってちぎる、など2つの連続した手指の動作	両手に持ったボールを頭上から投げる。 簡単な折紙を折る。 丸が閉じる。大きさを調整して描ける。		
			人間関係 (人との関わりに関する領域)	特定の人に愛着を示す。 三項関係の確立。	自分でしようとする欲求が出てくるので受け止めてあげる。 噛み付きが出ることもある為、子どもの思いを代弁し、言葉でのやりとりを伝えていく。	自我が芽生える。 気持ちを立て直すことができ始める。	友達と手を繋いで歩くことができる。 「自分で」と自我を主張する。 「イヤ」「もつと」など自分の欲求を意思表示する。	自分を中心にしたものの考え方をする。 他者のモデルを自分の世界に取り入れる(まねっこ)。	道具を媒介に友達とごっこ遊びをする。 簡単なルールのある遊びができる。		
			環境構成	甘えや不安を受け止め安心して過ごせるようにする。	玩具や遊具を用意したり探索あそびのできる空間作りをする。 興味のある絵本の言葉を繰り返し、保育士にせがんで読んでもらいたがる。又、その中の言葉を真似て言う。	子どもの意欲を大切にし量を加減したり、さりげなく援助し満足感が味わえるようにする。 一人ひとりの排泄の間隔を把握してトイレに誘う。	生活や遊び全般に「自分で」という気持ちが出てくるので、励まされたり、見守られたりしながら意欲を育み、できた喜びに共感してもらう。 分かりやすいように物の置き場所を整えてもらう。	動きが活発になるので、体を十分に動かすことのできる遊びを取り入れる。 自分の思い通りに行かないと態度で伝えてくる。保育者に思いを受け止めてもらう、代弁してもらう。	身の回りのことを自分でしようとするので、できたことは「できたね」と認め、自信が持てるよう接していく。 子どもが経験したことを話す中で言葉のやりとりが楽しめるようにする。		
			環境構成								
			環境構成								

	言語 (言葉の獲得に関する領域)	・簡単な単語の意味が分かるようになり、大人の言葉に対し、首振りなどの動作で答える。 ・要求や拒否を喃語や動作で表現 →拒否を表わす片言を話す。	・指さしや身振りを交え、片言や二語文で気持ちをつたえようとする。 ・大人の言葉をオウム返りする。 ・友だちの名前がわかる。	・興味のある絵本の言葉を繰り返すつかおうとする。 ・友だちの名前を呼ぶようになる。 ・助詞を使うようになる	・自分で自分の思いを伝えようとする。 ・「これなに？」と尋ね、物の名前を何でも知りたがる。 ・自分のことを名前で言い始める。	・簡単な繰り返し言葉やリズムカルな言葉の絵本を好む。 ・発声が明瞭になり、語彙が著しく増加する。	・「なんで」「どうして」と尋ね、様々な事に興味を持つ。 ・問いと答えの関係が成立する。 ・意思や要求を言葉で表す。
表現	絵画・造形	・なぐり描きを繰り返し楽しむ。 ・シール貼りを楽しむ。	・道具を使って表現したり、色々な素材に触れる。	・連続グルグル描きのはじまり。 ・ちぎる、転がすなどの感触あそびを楽しむ。	・友だちと一緒に描くことが楽しくなる。	・好きなようにイメージを膨らませ表現する。 ・季節を感じながら作る楽しさを味わう。	・連続したグルグル丸や、独立した丸を描き始め、意味づけし始める。
	音楽	・わらべ歌、ふれあい遊びを保育者と一緒に楽しむ。	・手遊び、歌などまねっこして楽しむ。 ・2歳児のするリズムを見て真似する。	・リズムが好きになり、ピアノの音を聞いて、自分から体を動かそうとする。	・リズムを通して二人組や色々な表現をすることで、友だちとの関わりを楽しむ。		・友だちと一緒に歌うことを楽しむ。 ・簡単な楽器に触れることを楽しむ。

具体的な年間計画		4・5月	6・7月	8・9月	10・11月	12・1月	2・3月
	言語 (言葉の獲得に関する領域)	擬音語を使った絵本を楽しんで見る。		繰り返しの言葉を使った絵本を楽しんで見る。	歌遊びの絵本を楽しんで見る。	簡単なお話の絵本を理解してみる。	
	絵画・造形	こいのぼり製作、各月製作 シール貼り なぐり描き	七夕製作、各月製作 粘土 シール帳にシールを貼る	感触遊び(絵具・寒天など) 各月製作・敬老の日	各月製作	クリスマス製作 各月製作 鬼製作	ひな祭り製作 各月製作
	音楽	はるですね はるですよ つくしんぼ・ちようちよ ちっちゃないちご・こいのぼり こたりのうた リズム遊び	かたつむり・とけいのうた しゃぼん玉・たなばたさま 水あそび・とんでったバナナ	すいかの名産地・アイアイ 虫の声 げんこつ山のたぬきさん ぼんぼこたぬき	もみじ・どんぐりころころ まつぼっくり・こぎつね やきいもグーチャーパー 大きな栗の木の下で	あわてんぼうのサンタクロース お星がひかる・たきび お正月・ゆげのあさ コンコンクシャンのうた	鬼のパンツ・雪のペンキ屋さん ゆき・うれしいひなまつり バスごっこ・どんな色が好き 鈴やタンバリンなどの楽器に触れる
健康	階段昇り降り サーキット遊び 散歩	プールあそび		階段昇り降り サーキット遊び 散歩	鉄棒ぶらさがり		

反省	<p>新入園児は、初めは不安から泣く姿が多く見られたが、保育者が丁寧に接することで徐々に安心してすごせるようになった。登園、降園の流れや、手洗い、食事などの生活習慣にも少しずつ慣れてきた。室内での探索活動を中心に、玩具に興味を持って自ら関わる姿が増えた。子ども一人一人のペースや不安感の現れ方に個人差があり、より個別に寄り添った対応が必要だった。</p> <p>生活の流れに見通しをもち、自分から手を洗う・エプロンをつけるなどの姿がみられるようになってきた。トイレや排泄のタイミングを知らせてくれる子も増え、保育者の声掛けに応じてトイレに行く事ができた。室内では、新聞遊びや、感触あそび(小麦粉粘土)に意欲的に取り組み、素材の感触に興味を持って遊んだ。雨の日が多かったが、絵本を読んだり、リズム遊びなどで体を動かしながら楽しむ事ができた。室内でも体を動かせる工夫が必要と感じた。感触遊びを苦手とする子もいて、無理に参加せず、見守る姿勢や安心できる素材の選択が求められた。</p>
----	---

〈 年間目標 〉		I 期		II 期		III 期		IV 期	
		2歳～2歳3カ月未満		2歳4カ月～2歳6カ月未満		2歳7カ月～2歳8カ月		2歳9カ月～3歳未満	
よく遊び、よく食べ、よく眠る 基本的な生活習慣の確立を目指して									
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りのことを保育士に手伝ってもらいながら、自分でしようとする意欲を育む。</li> <li>個人差に留意しながら一人ひとりの発達に合った全身運動が十分にできるようにする。</li> <li>ルールのある遊びを友達とすることを喜ぶ。</li> <li>言葉でのやりとりができるようになる。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>スプーンを3点持ちしてこぼさず食べる</li> <li>ボタンをつけたり、外したりする。</li> </ul>		少し先のことを見通して行動する。	
子どもの姿		<ul style="list-style-type: none"> <li>見立て、つもり遊び。</li> <li>遊びの中で生活を再現する。</li> <li>積み木を8個以上詰める。又は見立てて遊べる。</li> <li>手指操作あそびが豊かになる。</li> <li>食べ物の好き嫌いが出てくる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>排泄の自立のための身体機能が整ってくる。</li> <li>排尿間隔が2時間になる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>道具を媒介にお友達とごっこ遊びをする。</li> <li>粘土で球や細長い形が作れる。</li> <li>積み木で積む、並べるを組み合わせて作る。</li> <li>簡単なルールのある遊びをする。</li> <li>偏食が表れる。</li> <li>赤ちゃん言葉から大人言葉への移行の始まり。</li> </ul>			
養護と教育	健康	生活習慣	食事	<ul style="list-style-type: none"> <li>よく噛む習慣をつける。</li> <li>始まりから終わりまで自分で食べようとする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食器に手を添えて、スプーンを使って自分で正しく食事をしようとする。</li> <li>汁物は両手でお椀を持って飲む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スプーンの3点持ちで食べる。</li> <li>スプーンと茶碗を両手で使える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>細かい介助は必要だが、最後まで自分で食べようとする。</li> </ul>		
			排泄	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育士に誘われてトイレに行き排泄しようとする。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>排泄の後始末の方法を知らせ、手伝ってもらいながら自分で後始末しようとする。トイレットペーパーを自分で切る。</li> </ul>			
			着脱	<ul style="list-style-type: none"> <li>援助されながら靴を履く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育士に着脱を援助されながら自分でできることをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>簡単な衣服の着脱を試みようとする。</li> <li>自分で靴下を履く。チャックをあげることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分で靴を履く。</li> <li>ボタンを外す。</li> </ul>		
			睡眠	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分で布団に入り見守られながら安心して眠る。</li> </ul>					
			清潔	<ul style="list-style-type: none"> <li>鼻が出たことを知らせ、拭いてもらったり、自分で拭こうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>衣類が汚れたことを知らせる。</li> <li>手が汚れたら洗いにいこうとする。又は洗いに自分で行く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コップで自分でうがいをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食事やおやつの前に手を洗うなど、少し先のことが分かり、自分でしようとする。</li> </ul>		
	運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボールを上手投げで投げる。</li> <li>ボールを前に蹴る。</li> <li>積み木を8個以上積む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽に合わせて、「屈伸運動」や腕の曲げ伸ばしのある動きができる。</li> <li>階段の手すりを持って1段づつ上がる。</li> <li>両足でジャンプする。線に沿って歩く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>後ろ向きに歩く。</li> <li>滑り台から滑る。</li> <li>平衡感覚が身につく、身体の動きがなめらかになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育士の仲立ちによって共同の遊具などを使って遊ぶ。</li> <li>斜面を上り下りする。</li> </ul>				
	人間関係 (人との関わりに関する領域)	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育士や友だちと信頼関係を築き、安定してあそぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「自分で」「いやだ」などと強いこだわりや自己主張を見せる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育士や友達のしぐさや行動を真似して一緒に楽しむ。</li> <li>自己主張を言葉で伝え、友達のこともわかって行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育士の仲立ちで相手にも思いがあることを分かってもらう。</li> <li>他児との関わりが増え、一緒に遊ぶ</li> </ul>				
	環境構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>人的・物的援助</li> <li>靴箱・ロッカー・タオルかけに個人マークを貼り、自分で覚えて準備や片付けができるようにする。</li> <li>不安や甘えを受け止め、安心して過ごせるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食事スペース・着脱スペース・あそびスペースをつくり、落ち着いて過ごせるようにする。</li> <li>保育士とともに水あそび、夏のあそびを満足するまで楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己表現の特徴をつかみ、個々に必要な助けをする。</li> <li>要求のぶつかり合い、とらぶるになりそうなときは、すぐに介入せず、子ども同士での解決を見守る。</li> <li>机上で集中してあそびこめるように様々な要素のおもちゃを準備する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育士に見守られながら身の回りのことを自分でできるようにする。</li> </ul>				
	言語 (言葉の獲得に関する領域)	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分で自分の思いを伝えようとする。</li> <li>物の名前を何でも知りたがる。</li> <li>自分のことを名前で言い始める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の意思や欲求を言葉で表す。</li> <li>簡単な繰り返し言葉やリズムカルな言葉の絵本を好む。</li> <li>発声が明瞭になり、語彙が著しく増加する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>言葉のやりとりを楽しみ、自分の思いを短い言葉で表す。意思や要求を言葉で表す。</li> <li>保育士や友達との会話を楽しむ。</li> <li>「なんで」「どうして」と尋ね、様々な事に興味を持つ。問いと答えの関係が成立する。</li> </ul>					
	表現	絵画・造形	<ul style="list-style-type: none"> <li>独立したグルグル描きをする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ねじってちぎるなどの連続した手先の動作</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>丸が閉じる。</li> <li>粘土で球や細長い形が作れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>丸の大きさを調整して描ける。</li> </ul>			
音楽		<ul style="list-style-type: none"> <li>季節のうたに親しむ</li> <li>保育士や友達と一緒に歌うことを楽しむ</li> <li>リズムに合わせて体を動かすことを楽しむ。</li> </ul>							

〈 年間目標 〉		I 期		II 期		III 期		IV 期					
		3歳～3歳2カ月未満		3歳3カ月～3歳4カ月未満		3歳5カ月～3歳6カ月		3歳7カ月～3歳8カ月		3歳9カ月～3歳10カ月		3歳11カ月～4歳未満	
よく遊び、よく食べ、よく眠る 基本的生活習慣の確立を目指して													
ねらい		・食器に手を添えてこぼさず食べる。 ・助けてもらいながら自分で着脱をする。		・スプーンを3点持ちで食べる。		・こぼさずに一人で食べる。 ・茶碗の移行。 ・ボタンを付けたり外したりする。				・見通しを持って、促される前に自分で身の回りのことをする。			
子どもの姿		・役割あそび ・日常生活を再現した多様なごっこ遊び				・貸し・借り・交代などの決まりが分かる。 ・並行あそびをする。		・色・形・数・量などに興味を持つ。 ・男女のあそびに違いが出始める。				・手先を使って集中してあそぶ。 ・種類に分けたり、並べてあそぶ。 ・ルールのあるあそびをする。	
養護と教育	健康	生活習慣	食事	・スプーンを3点持ちで食べ、茶碗を両手で持つことができる。	・苦手なものも自分で食べようとする。	・こぼさずに一人で食べられるようになる。		・食後に食器を片付ける。					
			排泄	・排泄の間隔が長くなる。		・尿意を感じたら自分でトイレに行き排泄する。	・布パンツを履いて過ごせる	・自分で便意を感じたらトイレに行く。					
			着脱	・言葉掛けにより、衣服の前後や裏表、靴の左右が逆になっていることに気付き、直そうとする。		・衣服の着脱がほぼ自分でできる。	・脱いだ衣服をたたんでかたづけようとする。		・少しの手伝いで身の回りのことは大体できる。				
			睡眠	・自分で布団に入り見守られながら安心して眠る。									
			清潔	・手洗いの手順を知り、丁寧に手を洗う。 ・鼻水が出たら自分で拭こうとする。	食後にぶくぶくうがいができる		・鞆に自分の荷物を片づける。						
	運動	・ブリッジができる。 ・階段の昇降が安定する。		・ギャロップができる。	・ケンケンができる。 ・手先を使って集中してあそぶ。	・ボールの下投げができる。							
	人間関係 (人との関わりに関する領域)	・保育士や友だちと信頼関係を築き、安定してあそぶ。	・「自分で」「いやだ」などと強いこだわりや自己主張を見せる。	・保育士に仲立ちしてもらいながら友だちの想いや気持ちに気付く。	・少しずつ自分の想いを伝えようとする。 ・「なぜ?」「どうして?」と何でも質問する。	・保育士や友だちと言葉のやりとりを楽しみながら絵本を再現してあそぶ。	・時制の表現が現れる。 ・簡単なルールのあるあそびをする						
	環境構成	人的・物的援助	・1人ひとりの興味や発達状況を把握し、安全に遊べるように気を配りながら、全身を使って思い切り体を動かす満足感が味わえるよう、散歩コースや遊具などを工夫する。	・食事スペース・着脱スペース・あそびスペースをつくり、落ち着いて過ごせるようにする。 ・食事で苦手な物に少量でも挑戦できたら喜びを共有する。			・保育士に見守られながら身の回りのことを自分でできるようにする。						
	言語 (言葉の獲得に関する領域)		・自分の意思や欲求を言葉で表す。 ・話し言葉の基礎ができる。 ・自分のことを一人称で話す。 ・自分の思いを態度で伝えてみようとする。(800～1000語)	・自分の気持ちを短い言葉で伝える。	・言葉のやりとりを楽しみ、自分の思いを短い言葉で伝える。	・簡単な言葉のやりとり、ごっこあそび、つもり遊びを楽しむ。	・保育士や友だちとの会話を楽しむ。 ・時制の表現があらわれる。	・保育者や友だちとごっこあそびを通して、イメージを膨らませてなりきってあそぶ。					
	表現	絵画・造形	・色、形、数などに興味を持ち、表現する。	・閉じた丸を描く	・目や口の認識をして描く	・頭、足、体が描ける。 ・頭足人が描ける。 ・ハサミの1回切りができる。	・描きたいものをイメージして描く	・描きたいものをイメージして描く					
音楽		・季節のうたに親しむ ・保育士や友達と一緒に歌うことを楽しむ ・リズムで静止する、反対回り、速度調節、など身体機能が高まる。			・簡単な楽器に触れることを楽しむ。								

		4・5月	6・7月	8・9月	10・11月	12・1月	2・3月	
具体的な年間計画		言語 (言葉の獲得に関する領域)	春にちなんだ絵本 子ども達の興味関心のある絵本や紙芝居	ジュースやアイス・ゼリーなど 夏のあそびに関する絵本	夏にちなんだ絵本	秋にちなんだ絵本	冬に関する本など クリスマスに関する絵本	節分など行事に関する絵本 →
		表 絵画・造形	なぐり描き 花紙製作	感触遊び(寒天・絵具・小麦粉粘土等) フィンガーペインティング	のり・絵の具	のり・折り紙 顔を描く	のり・はさみ(1回切り) 顔を描く	のり・はさみ 顔を描く・折り紙 →
		現 音楽	リズム体操 ・せんせいとおともだち リトミック ・はるですねはるですよ 讚美歌に親しむ ・こいのぼり	・とけいのうた ・うちゅうせんのうた ・たなばた ・みずあそび	・あいあい ・すいかの名産地 ・まつぼっくり ・とんぼのめがね	・シンデレラのスープ ・きのこ ・おいもころころ ・きくのはな	・室内の温度や湿度などに留意し、換気をこまめに行う。 ・気温の変化や体調に合わせて衣服を調節する。	・ゆげのあさ ・ゆき ・北風小僧の寒太郎 →
		生活習慣	・外出後、食事前は手洗いを行なう ・汚れたら着替える。着替えたものを片付ける。 ・服やタオルを自分でたたむ。 ・自分のコップを使う。				・外から帰ったらうがいをする	・給食後・おやつ後のうがいをする →
		養護と教育 人的物的援助	・気持ちに寄り添い、個々のリズムを大切にしながら丁寧に声かけをし、信頼関係を築いていく。 ・支度や手洗い、着替え等の行ないやすい導線を考え設置する。 ・子どもがわかりやすいように個人マークをロッカー等につける。	・水遊び後のシャワーを浴びる→身体を拭く→着替える等の一連の流れの導線を考え設置する。 ・熱中症に十分注意し、こまめに水分補給を行なう。		子どもの動きが活発になるので大型遊具など補助が必要な個所を確認し、すぐに対応できるような配置で見守る。	・室内の温度や湿度などに留意し、換気をこまめに行う。 ・気温の変化や体調に合わせて衣服を調節する。	
		健康 運動	・石段など高い所からジャンプする かけっこ・散歩 友達と手を繋いで歩く(富小路公園・府庁・梅屋広場)	水遊び・プール遊び 六角堂	水遊び・プール遊び(東堀川・御所の出水)	かけっこ 鉄棒にぶら下がる 散歩(市役所・二条公園) 秋の遠足	ゼスト御池	お別れ遠足 御所の児童公園 →
反省		<p>・担任が変わり、初めは前担任の所へ行ったり情緒面が不安定な子がいたが、日が経つにつれて新担任とも関係ができ、一緒にいる時間が増えた。</p> <p>・散歩では、誰と繋ぐか同じ子が毎回もめていたので、自分の言葉で思いを伝えることで納得できることが多かった。</p> <p>・自分の思いが咄嗟に言葉で出ず、手や口が出たり涙する姿がよく見られた。お互いの気持ちを伝えあいながら楽しくかかわりが持てるように仲立ちしていきたい。</p>		<p>・暑い日が増え、感触あそびなども取り入れていった。初めは嫌がる姿が見られたが、回数を重ねることに笑顔で遊ぶ姿が見られた。</p> <p>・トイレでの排泄は成功する子が増え、パンツへの移行も少しずつ始めている。</p> <p>・プール、水遊びでは全身濡れてダイナミックに遊んだり、水鉄砲やおもちゃで水の掛け合いや見立て積みあそびを楽しんだ。</p>				